

東葛南部6市担当者会議の報告（報告・協議）

【概要】

在宅医療・介護連携に係る関係市町村の連携を図ることを目的として、東葛南部保健医療圏内6市の担当者による会議を年1回開催。今年度は本市が幹事市として下記のとおり会議を開催。

- 日時：令和6年5月24日（金） 午後2時～午後5時
- 会場：市川市役所 第1庁舎 5階 第1委員会室
- 出席者：船橋市、浦安市、鎌ヶ谷市、習志野市、八千代市、市川市、
オブザーバーとして千葉県、千葉市も参加

【協議事項】

◎在宅医療・介護連携の推進に向けた各市独自の取り組みとして

- ・もしバナカード¹を使用し、参加者同士で語り合う形式の市民講座の実施
- ・医療介護福祉職の紹介、健康相談、福祉用具展示等を複合したイベントの開催
- ・「ACPが成立している人の不搬送」に関するプロトコルの作成検討

といった情報提供があった。

◎研修会の開催方法として対面形式とオンライン形式のどちらにすべきか悩んでいるという声が上がった。

- ・対面形式のメリット：専門職同士で顔の見える関係が構築しやすい。グループワークが行いやすい。
- ・オンライン形式のメリット：対面では参加が難しい専門職も参加ができる。会場確保が不要。

⇒それぞれのメリットを活かし、対面とオンラインを融合させたハイブリッド形式で研修会を行っている自治体も

◎多職種連携に係る情報共有システムについて、システム導入自治体から

- ・書類提出や処理の時間等の観点から導入のハードルが高いと感じる医療・介護事業所が多く、システムの利用者が限られた事業所にとどまっている
- ・現在は様々な情報共有システムが開発され、各事業所で使用しているシステムが異なるため、市として統一したシステムの普及に苦慮している

といった課題が挙げられた。

⇒LINE WORKSといったビジネス用のコミュニケーションツールを使用している事業所も

◎市川市からは隣接市に対し、他市との合同研修会に関する照会を行った。

⇒研修のテーマや目的が一致し、各市での予算確保といった点が解決すれば検討できるのではといった意見が寄せられた。

¹ もしものための話し合い（＝もしバナ）をするきっかけ作りを目的としたカードゲーム。カードには「誰かの役に立つ」、「自分の人生を振り返る」、「家族や友人と過ごす」といった人生の最終段階における事柄が記載されており、その中から大切にしたい事柄を決め、その理由を話し合う。